

第13回

企業活動の基礎
資金調達

執筆・講師 宮坂恵美子



学習のねらい

企業はビジネスに必要な資金をどのように調達するのでしょうか？今回は「資金調達」について学びます。まず、ビジネスに必要な資金の種類には何があるか。企業が資金を調達する方法にはどのようなものがあるか。そして近年、資金調達の方法として注目されているクラウドファンディングの実例も紹介します。

調べておこう・覚えておこう

株式／設備／クラウドファンディング／株主

※空欄 を「調べてみよう・覚えておこう」の語句で完成させましょう。

👉 Point ① ビジネスに必要な資金

企業がビジネスを行うためには資金が必要です。ビジネスに必要な資金には「設備資金」と「運転資金」があります。

製造業を例に、この2つの資金をみてみましょう。

まず「設備資金」。工場などの建物や機械などの設備の購入をするときに必要な資金です。また、古くなった設備を最新のものに取り換えるときにも設備資金が必要です。生産性の向上にもつながるので設備資金はとても重要です。

そして「運転資金」。商品や原材料の仕入代金、家賃や光熱費などの経費、従業員の賃金など、企業が日々のビジネスを行うのに必要な資金です。

ビジネスに必要な資金には「 ① 資金」と「運転資金」があります。

①は番組出題問題です。

👉 Point ② 借入れと社債の発行

企業が資金を調達するおもな方法には次のようなものがあります。

▶ 金融機関からの借入れ

銀行などの金融機関から借入れる方法です。お金を借りるので返済しなくてはなりません。また、利息も支払わなければなりません。金融機関は、これまでの取引実

績や事業計画などを見て貸し出すかどうかを判断します。

▶ 社債の発行

社債を発行して広く一般から資金調達する方法です。社債は将来、返済するという条件で発行されるので、多数の投資家からの借入れとみることができます。返済するまでは、利息を支払わなければなりません。

▶ 株式の発行

株式を発行して広く一般から資金を調達する方法です。社債と異なり、株式を保有している投資家・② は、いわば企業の身内なので、返済義務はありません。企業は業績に応じて株主に配当金を支払います。

企業が資金を調達するおもな方法には「金融機関からの借入れ」「社債の発行」「③の発行」などがあります。

③は番組出題問題です。

 Point ③ 資金を集めるためのその他の方法

近年、資金調達の方法として注目されているのが「クラウドファンディング」です。

新しいビジネスなどをはじめたい人が、インターネットを通じてアイデアなどを公開し、一般の人々から少額ずつ資金を提供してもらおうしくみです。

* * *

番組では、クラウドファンディングを活用して復活を果たした、宮城県気仙沼市の銭湯施設を紹介します。

気仙沼漁港そばにあったこの銭湯は、長年、漁師や地元の人々の憩いの場となっていました。しかし2011年の東日本大震災で被災。それでも何とか営業を続けていましたが、2017年の防潮堤建設の区画整理にともなって閉店。漁師たちからは銭湯を惜しむ声があがりました。

そこで銭湯を復活させようと立ち上がったのが気仙沼の女性たち。食事もできる銭湯として再建しようと計画します。その開業資金の一部をクラウドファンディングで募ることにしたのです。名づけて「銭湯復活プロジェクト」。

今回のクラウドファンディングでは、1万円の支援には銭湯の入浴チケットと食事チケットを、3万円の支援にはいっしょに気仙沼のおすすめスポットを巡るお返しなどを用意することにしました。このアイデアが大成功！わずか2か月半で目標金額の600万円を達成することができました。こうして銭湯は閉店から2年後に復活を果たし、客足も徐々に戻ってきているそうです。

* * *

この銭湯のように、クラウドファンディングを使って資金調達する人は年々増えているそうです。クラウドファンディングのメリットは、インターネットを使った拡散性の高さと、少額から支援できるというところ。資金調達の他にも、活動やその人の思いを知ってもらえるという効果もあります。

クラウドファンディングは、思いを伝え、人と人をつなげる資金調達の方法なんですね。

新しいビジネスなどを始めたい人が、インターネットを通じてアイデアなどを公開し、一般の人々から少額ずつ資金を提供してもらおうしくみを **④** といいます。

④は番組出題問題です。

解答欄

- ① _____
- ② _____
- ③ _____
- ④ _____

© 2019 株式会社 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

このページの文書・画像の無断転載及び商用利用を固く禁じます。